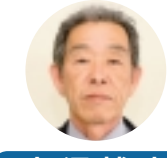
原発に関する問題について



大澤博克

問 **広報おまえざき（2010年12月号）掲載内容で、「泥田に金の卵を生む鶴」と表現されているが金の卵とはいったい何だったのか**

答 電源三法交付金制度により生みだされた財政・施設・ライフラインが金の卵ではなかったかと推察しております。

問 **使用済核燃料も金の卵に当るのか、この問題によって住民が一歩立ち止まり考える時間を持った、このこと自体が金の卵に値すると思います。**

（中部電力株式会社より提供）

問 **使用済核燃料管理、処分方法について**

答 管理は津波の影響を受けない高台への乾式貯蔵の必要性を考え、処分方法は「全量再処理」、「再処理と直接処分の併存」及び「全量直接処分」の3つの選択肢がありますが今後、国の「エネルギー環境会議」の動向を見たいと思っております。

問 **当地が最終処分場として可能かどうか調査する考えは**

答 最終処分場施設の必要性は極めて高いと思いますが、国全体で考える問題でありますから、市として動く考えは今のところはありません。

障がい者の雇用について

阿形昭

問 **最近、障がい者の自立意識が高まり、就職したいと思う人が増えてきました。障がいを持つ人の自立と社会参加を促す面からも、障がい者の雇用は重要であるが、雇用の実態は**

答 民間企業の法定雇用率は、1・8%。静岡県の実雇用率は、1・61%。掛川ハローワーク管内では、1・50%と低い値にとどまっています。

問 **法定雇用率未達成の企業に対する対策は**

答 国が実施している対策としては、ハローワークが実施している個別企業訪問による指導や、労働局や中小企業団体が主催するセミナーや会議などで積極的な指導をしているそうです。法定雇用率達成企業へは、調整金や報奨金を支給しています。一方、未達成企業からはペナルティとして障がい者雇用納付金を課しています。

問 **国の対策だけでなく、本市としての対策は**

答 市の窓口に就労の相談に来られるケースはめったにありませんが、そのような相談があれば、関係機関を通じて丁寧な支援を図ってまいります。

防災問題（津波、女岩避難路、消防団）について 原発再稼動問題について

清水澄夫

問 **巨大津波に対し、海抜の低い公共施設の高台移転は考えているか**

答 6月末に内閣府から防災計画が出されます。これに基づき国交省・県等から浸水区域や防災計画が示され、その後、市としても防災計画の見直し等の対応を考えます。オフサイトセンターの移転は国の権限下にありますが、市の災害対策本部として使用しているので遠方への移転はどうかと思います。

問 **女岩地区の避難路整備を進める予定はあるか、それとも現在の道路を避難路とするのか**

答 女岩地区は西山坂・清次郎坂・観音坂が主な道路です。現在観音坂拡幅工事を行い完了すれば避難路が確保されます。

問 **浜岡原発の再稼動については**

答 今も再稼動を議論するときではないと思っております。

東遠地区消防救急広域化について

松下久己

問 **「東遠地区消防救急広域化」について、平成25年度からの運営となる計画であったが、急遽白紙に戻る経緯について**

答 昨年7月に「東遠地区消防救急広域化検討会」を組織し、平成25年4月1日運営開始を目途に協議検討をしてきました。しかし、広域化に対する3市（掛川市・菊川市・御前崎市）の考え方や認識に相違があり、一旦、検討会の事務局体制を解き、白紙に戻すこととなりました。

問 **3市の考え方や認識の相違を具体的に**

答 消防運営の方式、名称等については合意を得ていますが、消防本部の位置について合意までに至りませんでした。

問 **今後の広域化への方向性は**

答 消防救急広域化が完全に消滅したわけではありません。今後も、消防救急広域化を継続して協議していきます。

問 **防災に携わる者は、様々な災害に備えて、即対応できる体制を養っている。職員の士気の低下を招かないうちに、住民の皆さんが安心できる消防体制の組織作りを一日でも早く決定するよう要望します。**

教育課題について

杉浦謙二

問 **浜岡中学校建設について**

答 浜岡中学校建設については、昨年、文教厚生委員会から、「御前崎市の中学校教育施設あり方検討会」設置の申し入れを受けて、検討会を設置し、検討してまいりました。委員の総意として、老朽化した浜岡中学校の建設については、早急に検討していくとの結論になりました。総合計画の中に平成24年度基本設計、平成25年度実施設計、平成26～27年度建設というスケジュールを入れさせていただいています。

問 **学校給食費の徴収について**

答 学校給食費未納状況は平成23年度末161世帯、380万円余であります。未納の解消はなかなか難しい状況でありますが、根気強く接触を図っています。

食べたものを支払わないというのは、言語道断でありますので毅然とした態度で徴収の努力をさせていただきます。

浜岡中学校

問 **消防団の報酬調査の結果は。また、査閲大会の必要性は**

答 調査した結果報酬は分団活動費（食事代・旅行貯金等）に一部徴収していました。適正な徴収方法を徹底するよう団長から各分団に通達をしました。査閲大会は団結力を養うために必要でありますが、団の意向をふまえ改善していきます。

訓練礼式

委員会質疑

総務経済委員会

問 **報酬審議会の委員は開催毎に新たに代わるのか。どのような方が委員となるのか**

答 報酬審議会委員は開催する毎に委員をお願いします。今回は市内区域内で公共団体等の代表3名、有識者2名の5名の方にお願いしました。

問 **2年後に新たに報酬審議会で議論されるのか**

答 「2年後にその額が妥当か検証が必要である」との答申が出ていますのでその期間前に報酬審議会を招集します。

問 **本年度の減額はどのくらいになるのか**

答 7月から来年3月までの間で市長が約142万円、副市長が約113万円の減額となります。

ポンプ車操法

可搬ポンプ操法

文教厚生委員会

議案42号 住民基本台帳法等の改正等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

議案44号 御前崎市教育委員会の委員長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案45号 静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

委員会では審査議案3議案に対する質疑は特になく、原案のとおり可決としました。

委員間討議においては、議案44号について、報酬審議会で諮り特別職3役についての減額は多い少ないは別として、賞賛すべきことの意見がありました。